

平和祈念作文を お寄せください

市では、平和を祈念する作文を募集します。これは、戦後50年にあたって平成7年から始めて今年で4回目を迎え、毎回多くの応募をいただいております。今回のテーマは「平和とは」。あなたにとって平和とは、どのようなものでしょうか。最優秀賞と優秀賞に入賞したかたには、8月14日に大館市民文化会館で行われる平和祈念式で、作品を朗読していただきます。また、応募作品は記念文集に掲載します。皆さんの平和への願いをどうぞお寄せください。

文量 (400字詰め原稿用紙)
小・中学生 2枚以内
高校・短大・一般 5枚以内
締め切り・6月30日(火)

テーマ「平和とは」



応募・問い合わせ先

〒017-0897 大館市字三の丸103-4
福祉事務所社会福祉係
☎49-3111 (内線405)

児童手当の現況届 忘れずに

三歳未満の児童を養育しているかたに支給される児童手当の現況届の受け付けを行います。

児童手当は申請することによって支給されます。この届け出を忘れずと手当を受けられなくなりますので、ご注意ください。なお、支給の対象になるかたには、はがきでお知らせします。

とき・6月12日、13日

9時～16時

ところ・総合福祉センター (三の丸)

次の場合は現況届とは別に届け出が必要です。

- ・受給者または子供の住所が変わるとき
- ・子供が生まれたなどで児童手当の額が変わるとき
- ・会社を退職したとき

児童手当についての

お問い合わせは

福祉事務所

☎49-3111

(内線408)まで。



市長リポート

No.160



結束力を
開港後にも

あきた北空港は開港に向けたイベントも続々と計画され、開港ムードも盛り上がってまいりました。しかし、地域だけが盛り上がっているだけではいけません。開港することを全国に向けてPRすることも大切です。まずは、航空機の発着地である東京、札幌、大阪のかたを中心にあきた北空港のこと、そして大館を含めたこの地域のことをもっと知っていただくことが重要です。それには空港開設に向けて官民一体となって発揮したエネルギーを、今度は全国の皆さんに向けていただきたいと思っております。

こうして、地域住民の念願であった空港が開港するわけですが、今後の利用状況も考えなければいけません。おそらく、初めは、オープンの時の盛り上がりも手伝って、多くの利用客があるでしょう。これを一時のブームに終わらせないためにも、新規の利用客とともに固定客を確保できるかが課題となります。また、冬場に利用者数が大幅に減るのではないかとということも心配ごとの一つです。周辺市町村の冬に行われる行事や付近のスキー場への中継点として定着させるようPRに努め、バック旅行などで観光客を呼びよせることも必要でしょう。そのほか、運航時間の問題もあります。各航路一日一往復ですが、現状では、日帰りの旅行に利用できないことが残念な点です。これらのマイナスポイントも補っていかねばなりません。

県北地方は高速交通体系の整備が遅れている地域でもありますので、東京まで一時間ちょっと、札幌まで四十五分と、所要時間の点では、飛行機に大きな魅力があるはずですが、あきた北空港の建設促進期成同盟会には、米代川流域の市町村はもちろん、広く青森県の深浦町まで加盟しました。運輸省や航空会社などの関係者も動かしこの結束力をさらにパワーアップし、今後のPR活動に生かしていきましょう。

小畑 元